

韋

田

転

I D A T E N

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を応援しています。

これでいいのか？JR 東日本①

実はこんなことがありました

2021年7月4日

川崎事故の
教訓はどこへ？

東京駅の駅員から突如「車両故障だから品川で入区となる」旨の連絡を当該列車の運転士が受けました。そして品川にて臨時入区を行い、車両交換をしました。

(ホントは故障したのは変えた方で、国府津に回送する為でした)
交換した列車は回送扱いとなり、平塚終のアト走りとなりました。
川崎駅の出発停止のため、ブレーキをかけながら指令から呼び出されます。
停車後に応答すると「保守作業確認します」と言われ、前方の本線上に保守用車が停車していました。

その後、保守用車の収容確認したのちに運転再開となります。
当該運転士は、その先も作業しているのではと、不安を持ちながら運転していったとのことです。

ポイント

- ①なぜ、現場に最終列車となる列車が変わることが伝わっていないのか
- ②なぜ、1カ月も経過するのに原因と安全情報がこないのか
- ③なぜ、最終列車の確認ミスは大事故の原因になっているにもかかわらず、本線乗務員に周知されないのか。

以上3点が分会が気がかりとなっている点です。これは十分に安全衛生の観点からも危険だと考えます。会社は社員に報告の有無をもって「隠蔽」だと述べていますが、会社が社員に情報を開示しないのも十分「隠蔽」です。

安全が揺らいでいる会社です。事象に遭遇したら、速やかに分会まで報告・連絡・相談して下さい！

あわや大事故!? 最終列車通過前に保守作業を開始させる!